

麻布大学同窓会島根県支部50年の集いを開催

麻布大学同窓会島根県支部会長

森脇 稔幸



麻布大学同窓会島根県支部「50周年の集い」 平成23年2月19日 於:玉造温泉 松乃湯

げ、翌昭和35年2月に浜田市で7名の出席により第1回が開催されました。

爾来、50年の歳月を経て平成22年に50周年を迎えることから、記念となる催しを企画しましたが、新型インフルエンザの流行によって、事務局である保健所はその予防と対策に忙殺されたため、やむなく1年延期となりました。

今年度においても、4月20日の宮崎県における口蹄疫の発生による甚大な被害や11月末に国内初めて鳥インフルエンザが島根県安来市で発生し、その後、全国各地の養鶏場での継続発生や野鳥からの強毒性ウイルスの確認など50周年の催しの開催が危惧されましたが、何とか開催にこぎつけることが出来ました。

平成22年度の総会終了後、政岡学長から21世紀社会における世界人口の増加、地球温暖化、生物多様性保存などの課題とその解決へ向けての若き人材育成の重要性、また、近い将来に到来する我が国の人口減に伴って大学入学者の減少が懸念されている事など大学としての課題も踏まえて、有意義なご講演頂きました。

また、講演後、本県支部から政岡学長に対して、上述しましたように全国各地で口蹄疫や鳥インフルエンザ等の感染症の発生が懸念されていることから、本県を含めて地方の獣医師不足対策は喫緊の重要課題であり、麻布大学としても早急にご検討されるようお願いしました。

総会終了後、奈良時代開湯といわれる古湯「玉造の湯」に浸り、英気を養い、最長老の米山公一氏(昭和32年卒)の音頭で「50周年の集い」を開催致しました。

久し振りに出席された方もあることから、政岡学長様をはじめ会員全員に自己紹介をして頂き、親睦を深めました。

時間はあっという間に過ぎ、来年の再開を約束して散会としました。

終わりになりましたが、遠路出雲路まで駆けつけて頂きました政岡学長様並びに50周年の集いに祝電を頂きました麻布大学同窓会長紫野正雄様に厚く御礼申し上げます。